

令和 8 年度第 1 回笛吹市地域公共交通会議 会議録

■開催日時：令和 8 年 5 月 26 日（火）午前 9 時～10 時 30 分

■開催場所：笛吹市役所本庁舎 3 階「302 会議室」

■出席状況

・出席委員：一般社団法人山梨県バス協会 専務理事

山梨交通株式会社 常務取締役執行役員

富士急バス株式会社 代表取締役社長（代理出席）

有限会社一宮交通 代表取締役

笛吹市連合区長会 理事

笛吹市シニアクラブ連合会 会長

関東運輸局山梨運輸支局 首席運輸企画専門官

山梨交通労働組合 執行委員長

富士急行労働組合 執行委員長

社会福祉法人笛吹市社会福祉協議会 事務局長

甲府河川国道事務所 副所長

笛吹警察署交通課 課長

山梨県 地域デザイン・新交通基盤推進局

地域・次世代交通推進グループ 地域・次世代交通推進監（代理出席）

早稲田大学理工学術院 教授

笛吹市 副市長

・事務局：総合政策部 部長

総合政策部企画課 課長

総合政策部企画課 課長補佐

総合政策部企画課 副主幹

・欠席委員：4 人

・傍聴人：なし

■会議次第

1 開 会 2 委嘱状交付 3 市長あいさつ 4 委員紹介 5 事務局職員紹介 6 役員選出について 7 会長あいさつ 8 議事（協議・報告） (1) 笛吹市バス事業の概要について (2) AI デマンド交通本格運行の運行状況について (3) AI デマンド交通における乗降ポイントの追加について (4) 地域公共交通確保維持事業計画（案）について (5) 令和7年度事業報告及び決算報告及び令和8年度事業計画について 9 その他 10 閉会	
9 : 00 事務局	1 開 会 2 委嘱状交付 3 市長あいさつ 令和4年度に笛吹市地域公共交通計画を策定し、市内公共交通再編を進めてまいりました。令和6年1月15日から、AI デマンド交通のるーと笛吹の実証運行を開始し、地域や利用者の皆様からご意見頂戴しまして、ご好評をいただいております。令和8年4月から運行エリアを市内全域に拡大し、現在進めているところでございます。 のるーと笛吹の利用状況は、現在令和8年4月末時点で、登録者数が8866人、利用人数は延べ4万8000人を超え、利用者登録数、利用者人数とも我々が考えた通りの順調な推移でございます。 今年度は市内全域での運行を開始したことで導入の段階が終わりまりましたので、これから効率的な運行と利用促進に繋がる段階へと進んでいくわけでございます。 市民の皆様がより便利に利用しやすい公共交通とするため、引き続き取り組んでまいりたいと思っております。 市として負担をしてでも市民の皆様の足を確保しようということでございます。その中で交通弱者の足の確保、高齢者の免許証の返納を進めていきたいと考えております。委員の皆様にはぜひともいろんな部分でご意見いただきながら、笛吹市の公共交通へ意見を反映していきたいと思っております。ご協力よろしくお願いいたします。
市長	
事務局	4 委員紹介

会長	5 事務局職員紹介
	6 役員選出について ・「笛吹市地域公共交通会議規約」の説明 ・監事に連合区長会理事が就任
	7 会長あいさつ 皆様改めましておはようございます。 本日はお忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。 公共交通は赤字であるというようなことが言われております。これもちろん、赤字というのはその面だけではそうですが、高齢者の方々などの足を確保することによって、外出機会の創出をして市全体として黒字になると非常にいいのかなと思います。そのためには先ほど市長様からお話がありましたように効率化や利用促進が非常に重要であると思っております。 この4月に笛吹市では立地適正化計画の方も策定されたかと思えます。立地適正化と公共交通の供給はある意味両輪ということになるかと思えます。 公共交通がいつまでもこの地域にあるということを一つのアピールとして、この市全体として、笛吹市でしたら最後まで公共交通は使える街だということでアピールしていただいて、多くの方が、笛吹市に住んでみたいと思えるような町もあわせて作っていいのではないかと思います。 本日はよろしくお願いいたします。
	8 議事
	(1) 笛吹市バス事業の概要について 資料1「笛吹市バス事業の概要について」により事務局担当者説明
事務局	
会長	ただいま説明があった内容について、何か御質問等がありますか。
	(質疑なし)
事務局	(2) AI デマンド交通本格運行の運行状況について 資料2「AI デマンド交通本格運行の運行状況について」により事務局担当者説明
会長	ただいま説明があった内容について、何か御質問等がありますか。
委員	概算でいいんですけれども、この4万何千人の利用者数の中で、高齢者の割合っていうのはちょっと伺いたいなと思うんですけどいかがでしょう。
事務局	大体半分の5割程度が高齢者となります。

会長	私から一点、人数のところ現状でいくと結構時間帯によっていっぱいになり、予約が取れない状況が発生してるのかなと思います。何かこのシステムの的な対応はどのような形で考えられているのでしょうか。
事務局	令和8年の4月の乗合率は22%、稼働率42%となります。稼働率につきましては実際に乗客の方が乗った時間とのルートが走っているシフトの時間を割り返した数字になりますので、どうしても目的地へ向かう距離があり、上限値が50%程度までしか上げられないと思われます。 乗合率は現状、寄り道する時間設定で割合を決めているような状況になります。のろーとは予約制の乗合交通となりますので、乗合率の方につきまして、今後の利用の状況を見ながら、最大の待ち時間数等の設定を検証していきたいと考えております。
会長	時間帯の状況は運営会社の方でデータを取ってるとは思います。実際どういう使われ方が多いであるとか、運行の形式をどうしていくのがいいのかは、考えなきゃいけない時期に既になっているかと思います。 利用が多くて逆に困っているという時間もあるかと思いますが、ご検討いただければと思います。 (他に質疑無し)
事務局	(3) AI デマンド交通における乗降ポイントの追加について 資料3「AI デマンド交通における乗降ポイントの追加について」により事務局担当者説明
会長	ただいま説明があった内容について、何か御質問等がありますか。 1点だけ、乗降ポイントって何か施設を作るのでしょうか。
事務局	乗降ポイントにバス停のようなポールを立てて置いておく形になります。
会長	これ業者さんに費用負担していただいているわけではなく、市で用意したということでしょうか。
事務局	市で用意しております。
会長	わかりました。ありがとうございます。 その他いかがでしょうか。 (質疑なし)

	特にご質問等なければ、乗降ポイントの追加につきましてはご了解いただいたということにさせていただきたいと思います。
事務局	(4) 地域公共交通確保維持事業計画（案）についてについて 資料 4「地域公共交通確保維持事業計画（案）について」により事務局担当者説明
会長	ただいま説明があった内容について、何か御質問等がありますか。 のるーと第 1 期第 2 期第 3 期で利用状況等がどう違うのかは何かデータからわかりますか。地域ごとに、利用者数とかの人口に対する割合とか。
事務局	その部分に関しまして数字自体はございますので、今後数値等を確認しながら説明資料等へ反映の方させていただきたいと思います。
会長	特に重点的にこういったところの地域に説明会等すべきなのかというようなことも含めてデータとして利用状況を確認していただけるとありがたいと思います。 あと免許返納の方々の利用状況等がわかるといいなと思いますがこれはデータの取得として難しいですか。
事務局	AI デマンド交通は免許返納する方に関しましても、利用していただきたいという中で、電話や窓口で直接ご意見いただく際にも、これで免許返納できるねという話もいただいております。返納者に対する割合等の数値的な部分、把握できておりませんが、免許返納の推進という形での記載について、今後させていただければと思います。
会長	免許返納した後の AI デマンドを使った生活、何かそういったものがわかる資料等を作成していただくと、返納のきっかけになるかもしれません。ご家族が促すときにも案内資料があると説明にいいかなと思います。よろしく願いいたします。 その他いかがでしょうか。何かご質問等ございますか？
委員	数値的な確認で運行に係る市負担額ということで AI デマンド交通令和 7 年度が約 8000 万ということで、令和 10 年度の目標 6100 万ということになっております。 そのうち運送経費が 3000 万ということで、残りが多分システム使用料やその他経費だと思います。収入が約 700 万ございまして、この目標が経費全体で 6100 万となります。運行を拡大すればコスト上がるんですが、それ以上に収入が取り込んでいけるのか。システム使用料が下がっていくのか。その点が見えて来ませんでしたので、もしわかれば教えていただきたいと思います。
事務局	昨年度までに関しまして、システムの利用料に導入の経費ということで初期設定費用が大きくかかっている部分があります。また合わせて、運行の拡大という形で来ましたので、ハード面の対応は 7 号車でまず一旦の区切りという形にさせていただきまして、

委員	今後のランニングコストはそこで維持という形になってくるかと思います。 ただ公共交通計画の令和 10 年度目標値の 6100 万円には、利便性が上がった分、どうしても市の負担が大きくなっている点ございます。今後、広告収入等でどこまでこの 6100 万円という目標値に近づけるかというところであります。 システム使用料の方が運行料より高い点は関係者の皆様に認識された方がいいかと思います。固定費でかかっている部分というのが大きい。コストというのは利便性向上に充てているということで理解をしているんですけども、固定費が結構な部分を占めているなというところで感想として持ちました。
会長	AI オンデマンドの多少の問題点が、1 回業者が決まるとそのシステムで動かし続けなきゃいけないことがあります。高いなと思って乗り換えるにも、乗り換えコストがすごくかかってしまうという可能性がちょっとある。その点は気をつけなければいけないところであるかなと思います。 本格運行しばらくして、料金状況含めて少し考える必要があるかなというふうに思います。また事務局の方で情報収集等していただければありがたいと思います。 その他いかがでしょうか。 (質疑なし) はい、ありがとうございました。 特にご質問等他にないようでしたら地域公共交通確保維持事業計画につきましては、今後のいくつかご説明にもありました小さな修正があるかと思います。そういった点につきまして、事務局に一任ということにさせていただきたいと思います。 また重要な点で変更等ございましたら書面による協議等を行わせていただく場合がございますので、基本的にはこの原案で了解ということにさせていただきたいと思います。
事務局	(5) 令和 7 年度事業報告及び決算報告及び令和 8 年度事業計画についてについて 資料 5「令和 7 年度事業報告及び決算報告及び令和 8 年度事業計画について」により事務局担当者説明
会長	ただいま説明があった内容について、何か御質問等がありますか。 私から一点。今後の事業の改善点というところで、データ活用によるサービスの改善等が書いてあったと思います。ただ年齢層を絞っての周知といったところの話はなかったかと思いますので、年代別の利用パターンを確認していただいて、どういった利用がされていて、どういった時間が混んでいる事の周知を示していただければと思います。また商業施設娯楽施設との連携やコラボレーションも含め、そういった内容につきまして、次回以降この事業の利用状況のご説明のところでお話をいただけるといいかなと思います。

事務局 10 : 30	その他いかがでしょうか。 (他に質疑なし) 内容については、御理解いただいたということでよろしく願いいたします。 本日予定をしておりました議事につきましては、以上となります。皆様、円滑な進行に御協力ありがとうございました。 佐々木会長にはスムーズな議事進行ありがとうございました。また委員の皆様におかれましても、進行に御協力をいただきましてありがとうございました。 9 その他 それでは最後となりますが、会を閉じる前に皆様から何かありますか。 (特になし) 10 閉会
---------------------------	---